

事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	しずおか 静岡	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	静岡県	対象市町村	しずおかし 静岡市ほか5市町
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年度）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地域の北部は日本第3位の標高を有する間ノ岳^{あいのだけ}（3,190m）を起点に3,000m級の山脈が連なり、極めて急峻な地形を形成している。地形は南に向かって徐々に高度を下げ、下流には丘陵地、台地及び扇状地帯の緩傾斜地形を形成し、駿河湾に至っている。 本地域の森林面積は、187千haで区域面積の72%を占め、民有林の人工林率は52%と県平均より若干低くなっているが、大井川中流域、安倍川及び藁科川流域では、ヒノキやスギを主体とする林業地帯を形成している。 人工林の齢級別内訳は、1～8齢級が7%、9齢級～12齢級が33%、13齢級以上が60%となっており、主伐・再造林による林齢構成の平準化の必要性が高まっている。 また、近年、利用間伐等の推進により森林の整備が進んだ一方で、集約化が進まない地域の森林では水源涵養機能等の森林の有する多面的機能の低下が危惧されていることから、森林資源の循環利用を促進するため、施業の集約化など生産コストの低減を図り、計画的に森林整備を推進していく必要がある。 このため、森林経営計画の策定を進め、本事業では、間伐や再造林等の森林整備と併せて、これらの効率的な実施に必要な路網整備を実施するものである。
事業内容・事業費	森林整備：1,530ha 人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等 路網整備：7,764m 林道開設 総事業費：2,627,408千円（税抜き2,388,553千円）
費用便益分析結果	$B/C = 4.28$ （総便益（B）＝12,385,986千円、総費用（C）＝2,894,176千円）
評価結果	必要性： 森林の有する多面的機能の維持・増進を図るためには、本事業により計画的に施業を集約化し、森林整備の推進を図る必要があることから、事業の必要性が認められる。 効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。

	有効性： 適切な森林整備により水源涵養等の公益的機能が持続的に発揮されるとともに、林道開設により将来の優良材の安定生産が図られることから、事業の有効性が認められる。
--	--

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：静岡県

地域（地区）名：静岡

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,979,595	
	流域貯水便益	726,598	
	水質浄化便益	2,953,490	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,768,236	
環境保全便益	炭素固定便益	519,015	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	385,666	
	木材利用増進便益	110,705	
	木材生産確保・増進便益	1,277,927	
森林整備経費縮減便益	森林整備促進便益	1,664,754	
総 便 益 (B)		12,385,986	
総 費 用 (C)		2,894,176	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,385,986}{2,894,176} = 4.28$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{19,012,390}{3,108,444} = 6.12$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{25,150,106}{3,357,034} = 7.49$		

森林環境保全整備事業 静岡地域（静岡県）位置図

